

迅速かつ正確に

平成二十二年 度 奥出雲町消防団夏期総合訓練 第二回奥出雲町消防操法大会

六月二十八日、三成公園野球場、人工芝サッカー場横の多目的駐車場で、夏期総合訓練ならびに消防操法大会が開催され、消防団員約五百七十人が参加し、盛大に行なわれました。

夏期総合訓練では、新入団員への辞令交付、町長、団長の訓示に続き、通常点検、部隊訓練などが規律ある動作で行なわれました。

操法大会では、小型ポンプの部に十八チーム、ポンプ車の部に九チームが参加し、日頃の訓練の成果を競い合いました。



部隊訓練の様子

操法大会成績表

【小型ポンプの部】

・優勝 布勢分団第2部(176点)

・準優勝 布勢分団第4部(175点)

・第三位 八川分団第4部(175点)

・第四位 八川分団第1部(150点)

【ポンプ車の部】

・優勝 布勢分団第1部(185点)

・準優勝 横田分団第1部(157点)

・第三位 八川分団第1部(150点)

【総合の部】

・優勝 布勢分団(180.3点)

・準優勝 横田分団(157点)

・第三位 八川分団(150点)

また、八月九日に大田市で開催される、第五十三回島根県消防操法大会の「小型ポンプの部」に出場する三成分団、「ポンプ車の部」に出場する馬木分団の操法披露も行われました。

残りわずかとなりましたが、両分団の健闘を祈ります。



操法大会の様子

消防活動服が新しくなりました

今年度、消防団員全ての活動服を全国基準に合わせ、一斉に更新しました。



新しくなった活動服

泳ぎが上手になったかな 五輪メダリストから水泳指導



オリンピック選手と貴重な時間を過ごす児童たち

文部科学省・日本体育協会が進める「トップアスリート派遣事業」の対象校に高田小学校が選ばれ、七月三日、三沢小学校屋外プールで水泳教室が行なわれました。

教室には、高田、三沢、高尾小学校の全校児童六十六人が、講演や実技指導を受けました。

講師は、水泳女子バタフライの選手として、二〇〇〇年シドニー五輪競泳女子メドレーリレーで銅メダルを獲得した大西順子さん。

までの道のり」と題して、五輪でのエピソードなどが話され、児童たちは興味深く耳を傾けていました。

大西さんは「自分が決めた目標に向かって、最後まで頑張り続けることが大切」と児童たちにエールを贈りました。

続く実技指導では、呼吸の仕方、水の中で手や足の使い方などを教わり、児童からは「オリンピック選手と一緒に泳げてよい思い出になった」、「泳ぎが速くなった気がする。もっと泳げるように頑張りたい」など感想がありました。

舞台芸術に感動 島根県児童演劇地方巡回公演

劇団 風の子 おさな星のうたたね

六月二十五日、二十六日の二日間、町民体育館で劇団「風の子」の「おさな星のうたたね」が上演され、町内全小学校の児童約八百人が、本物の舞台演劇に触れました。

この公演は、普段接することのない、本物の舞台芸術に触れ、児童たちに夢や喜びを与え、豊かな感性を育むことを目的に毎年開催されています。



演劇を楽しむ児童たち

児童たちは、会場に入るとまるで宇宙の中に入り込んだような雰囲気と舞台装置にびっくり。

氷魔王に占拠されそうになったおさな星を、「うたたね」という子どもが、妖精たちと力を合わせて救うストーリーに、児童たちは、お話の世界に浸り、大いに笑い、大いに怖がり、ちよっぴり涙し、歌や踊りの豊富な演出を熱心に鑑賞していました。

安心して暮らせる地域社会へ メッセージ伝達式

七月の「社会を明るくする運動」、「青少年非行問題に取り組む全国強調月間」に合わせ七月二日、役場仁多庁舎で、関係者が井上町長に協力要請のメッセージを伝達しました。

式には、保護司会、更正保護女性会、少年補導員、地域安全推進員など関係者約四十人が出席し、明るい社会づくりに向け、取り組みを確認しました。

昨今、青少年を取り巻く環境は、有害情報の氾濫などにより、犯罪を誘発する危険性が高まっています。

夏休みを前に、声かけ運動など地域ぐるみで取り組みましょう。



伝達式の様子

進路の判断材料に 横田高校生が企業訪問



製造工程の説明を受ける高校生

七月七日、八日の二日間、高校生の地元就職を促そうと、雲南雇用対策協議会が企画した企業視察があり、来春卒業予定の横田高校三年生約七十名が、地元の誘致企業や第三セクター、専門学校など十二箇所を巡り、進路選択の参考にしました。

初日に訪れた(株)加地本社工場(三成)では、会社概要や開発商品などの説明を受け、製造現場の様子を肌で感じました。

同社は、主力素材の超柔軟性ゴム、EXGEL(エクスジェル)を開発し、福祉介護

分野を中心に、自動車、オフィス用品など幅広い分野で高い評価を受けています。

生徒たちは、地元から様々な製品が開発、製造され、全国や世界で販売されていることに驚くとともに、実際に製品を手に取り、その感触を確かめていました。

進路決定を間近に控えた生徒たちにとって、有意義な二日間となったようです。

この研修を機に、参加した生徒が地元に残り、これからの町づくりに参加してくれることを期待しています。



迫力ある舞台演劇の様子